

ひたメディケアねっと（日田市在宅医療介護連携推進会議）

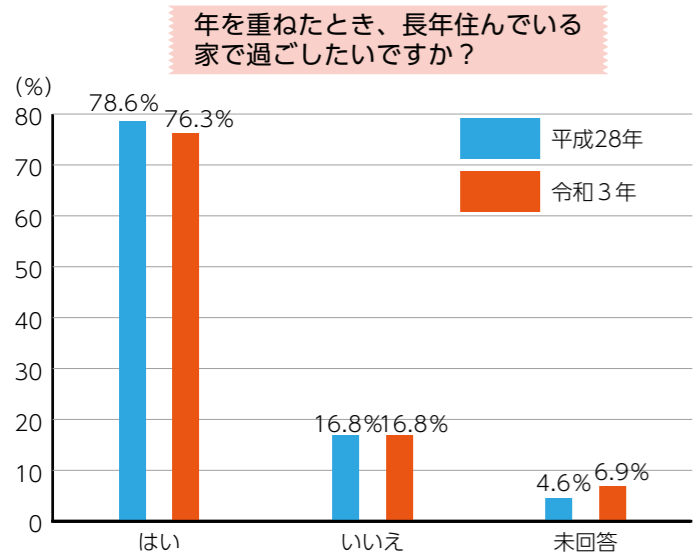
医療と介護の両方を必要とする状態の高齢者が、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができる地域づくりを目指し、医療・介護などの多職種で構成された「ひたメディケアねっと」を中心に、住民を対象とした市民公開講座や「人生会議」に関する啓発、多職種の連携強化を図るための各種研修会の開催などの取組みを進めています。

【アンケート概要】

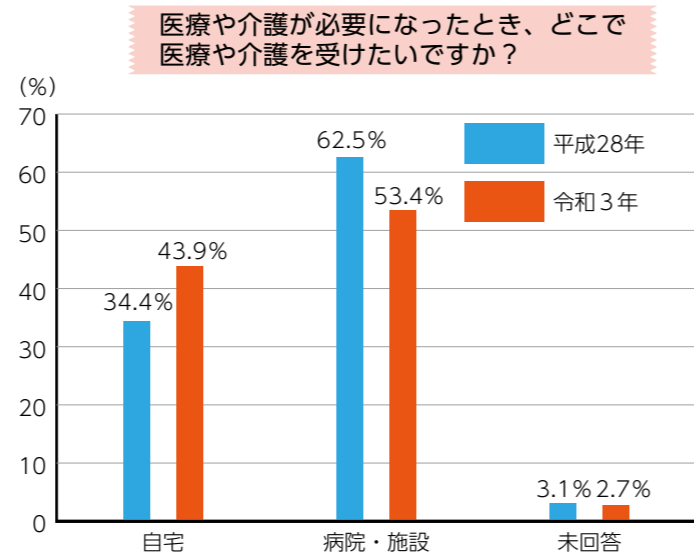
- 調査期間 令和3年5月～6月
- 調査方法 無記名（郵送によるアンケート調査）
- 対象者 住民基本台帳から無作為抽出40歳～90歳の2000人（うち要介護認定を受けている人500人）
- 回収数（回収率） 1056人（52.8%）
- うち有効回答数996人
- 令和3年分アンケート結果はこちら



▲多職種連携で高齢者を支えているイメージ



「長年住んでいる家で過ごしたい」と回答した人は平成28年と令和3年ともに70%以上で、大きな変化はありませんでした。



5割以上の方が医療や介護が必要になったとき「病院や施設で医療や介護を受けたい」と回答しています。また、平成28年と比較して「自宅で医療や介護を受けたい」と思う人が増えています。

住み慣れた家で暮らし続けるために何が必要ですか？（複数回答）

健康でいること	842件
住居や生活費など経済的な心配がないこと	564件
面倒をみてくれる人がいること	389件
医療系サービスが充実していること	244件
移動手段があること	215件
病院やお店などが近くにあること	189件
介護系サービスが充実していること	185件
近隣親戚友人仲間との付き合いがあること	107件
配食サービスがあること	63件
未回答	50件

「健康でいること」が最も多く、84.7%の回答がありました。また、「医療系サービスや介護系サービスが充実している」「移動手段がある」と回答した人が平成28年から増加していました。

知っている訪問サービスは何ですか？（複数回答）

訪問看護	797件
医師の訪問診療	728件
リハビリ専門職の訪問	439件
歯科医師や歯科衛生士による訪問診療	312件
栄養士による栄養管理・調理指導	190件
薬剤師による薬の説明や管理指導	179件
未回答	102件

- 薬剤師はこんなことをしてくれます。
- ・薬や生活状況の相談受付
  - ・薬の効果と副作用の確認
  - ・飲み残しの確認と整理、薬の管理方法や飲み方の説明
  - ・他の病院の薬、市販薬、健康食品との飲み合わせの確認 等

2 | 特集 在宅医療・介護に関するアンケート調査を実施しました  
住み慣れた場所で自分らしい暮らしを

ひたメディケアねっと（日田市在宅医療介護連携推進会議）では、今後の在宅医療・介護の連携を推進するにあたり、市民の現状を把握するためのアンケート調査を行いました。今回は初めてアンケート調査を行った平成28年から5年が経過し、市民の意識の変化もあわせて報告します（アンケート結果から一部抜粋）。

☎長寿福祉課長寿福祉係 ☎8299（市役所1階）